

令和 7 年 度

ライフサポート りんどう

年 報

社会福祉法人 長野りんどう会

ま え が き

令和7年度は、報酬改定（前回は令和6年度から8年度）の中間であったが、厚生労働省は障害福祉分野の人材確保に対応する観点から、令和7年2月に補正予算を組み、令和7年度に賃上げを実施できるよう措置をした。これを受け6月に一時金による処遇改善手当を支給しました。

当期の事業の執行にあたっては、事業効率の向上に取り組むとともに職員配置を工夫しました。

利用者の状況について、フレッシュの自立訓練（宿泊・日中）事業は、年度当初は退所が多く利用者減となったが、年度後半には新規の入所者を少しずつ増やすことができました。しかし、1年を通してはみると、利用者は減となりました。

グループホーム事業では、体験の部屋を設けるなど利用者の確保を図ったことなどから利用者を増やすことができました。

他の事業については、若干の利用者減となりました。

収入では、自立援給付費収入が、自立訓練（宿泊・日中）事業の利用者減による減収が大きく全体を押し下げ400万円近くの減となりました。この減収を少しでもカバーするよう少しでも有利な資金運用を行いました。また、育児介護規程の改正や非常勤職員の賃金見直しを行ったことにより、労働局に助成金を受けることができました。

一方、支出では、人件費が職員の定期昇給及び処遇改善手当の増などで増額となりました。前年度と比べ退職給付を除くと500万円近くの増になりました。

あと増加の多かった支出は、施設の修繕費で250万円増えました。

これらの結果、当期活動増減差額は230万円の利益にとどまりました。

以上のように、令和7年度の法人経営の状況をまとめましたので、ご高覧頂ければ幸いに存じます。

皆様方に置かれましては、今後ともご指導、ご支援のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和8年7月

社会福祉法人長野りんどう会

理事長 松 橋 良 三

目 次

まえがき

I 法人全体の状況

1 法人の理念	1
2 令和7年度 事業報告	1
監査報告書	13
資料1 施設全体行事	14
資料2 各専門係の活動状況	15
資料3 地域交流・地域貢献事業への参加状況	18
資料4 施設利用料等一覧	19
資料5 職員外部研修参加状況一覧	20
資料6 視察見学者の状況	22
資料7 実習生受入状況	22
3 令和7年度 収入支出決算状況	23

II 令和7年度 各サービス事業の実績

1 指定生活介護事業（フレッシュとくま）	28
2 指定短期入所事業（フレッシュとくま）	29
3 指定自立訓練（宿泊型）事業（フレッシュとくま）	30
4 指定自立訓練（生活訓練）事業（フレッシュとくま）	31
5 指定共同生活援助事業（グループホーム）	33
6 指定自立生活援助事業（自立生活支援室）	34
7 指定就労継続支援B型事業（ワークス上駒）	36
8 指定就労継続支援B型事業（ゆったりんどう）	37
10 指定一般相談支援事業（地域移行支援事業・地域定着支援事業）	39
11 指定特定相談支援事業（相談室）	40
12 指定居宅介護・重度訪問介護事業（ヘルパーステーションてくてく）	41

III 令和7年度 ライフサポートりんどう家族会の状況

	42
--	----

<参考資料>

1 役員等名簿	43
2 職員名簿	44

I 法人全体の状況

1 法人の理念

「私たちは、誰もが人として尊重される福祉活動を通じて、地域福祉に協力し、すべての人々が住みやすいまちづくりに貢献します。」

2 令和7年度 事業報告

令和7年度事業計画に基づいて実施した内容について、次のとおり報告します。

1 事業の取組及び成果

当期の事業状況につきましては、提供するサービスの向上と共に事業効率向上に取り組みました。また、給付費収入の安定を図るため、現状の職員で加算等の給付費が増加するよう人員配置について工夫いたしました。

職転により正職員への昇格や、育児と就業を両立するための支援として、育児・介護休業に関する規程に柔軟な働き方を実現するための養育両立支援休暇や短時間勤務の条項を設けました。休日勤務手当の支給等の待遇改善も行い職員の勤務意欲向上や離職防止等につとめました。

共同生活援助事業（グループホーム）では、事業所と地域の連携により、サービスの透明性・質の確保や利用者の権利擁護等を目的とした「地域連携推進会議」を設置し、初の会議を開催いたしました。

老朽化が著しいスローステップ建物につきましては使用の中止を決定いたしました。スローステップ内で実施していた就労継続支援B型事業ゆったりんどうは、令和8年度からワークス上駒の定員を増員し利用者を受け入れることといたしました。自立訓練（生活訓練）事業はフレッシュとくま（本部建物内）で継続することといたしました。

当期の業績につきましては、自立支援給付費収益は1億 8,788 万円となり前期に比べ 373 万円減少しました。一方、費用では約 70%を占める人件費が 191 万円増となりました。当期活動増減差額は 229 万円となり前期に比べ 329 万円（41.0%）減少となりました。

2 主な事業の取り組み内容

（1）生活介護事業（定員 17 人）

健康維持の支援、送迎サービスの実施、利用者のニーズに合ったプログラム作り、入浴サービス等に併せ安定した利用者確保に努めました。平均利用者数が多少減少したため、給付費も減少となりました。今後の課題として、利用者の高齢化などにより、フレッシュ 4 階の事業場所は検討が引き続き必要になっています。

（2）自立訓練（宿泊）事業（定員 17 人）

医療観察等の利用者が年度途中 1 名入所しましたが、昨年と比べると平均利用者数も減少しており、収入減となっております。

(3) 自立訓練（日中）（定員6人）

日中訓練の利用者は全員宿泊型自立訓練事業を使っています。利用途中で就労への移行希望が出る事が多く、2年間使わずに別の事業所利用に切り替えることが多いです。

(4) 共同生活援助事業（グループホーム）（定員27人）

新に一人暮らしに近い形で生活したいとの希望があり、サテライト型グループホームを開設し、定員を1人増やしました。体験者を受け入れ、入居に繋げることができました。

(5) 就労継続支援B型事業「ワークス上駒」(定員34人)

新規利用者は増えましたが退所者や、入院した利用者があり定員に満たない日が続いています。清掃作業、除草作業の収入減はありましたが、菓子の缶入れの作業など、新規作業を開拓し工賃の減少は最小限に抑えることが出来ました。次のステップへの希望がある利用者にはハローワークの登録等を行い就労や就労継続支援A型の紹介なども行いました。

(6) 就労継続支援B型事業「ゆったりんどう」(定員14人)

数年ぶりに地元小学校より、学校行事への参加の依頼をいただき参加しました。コロナ禍で途切れていた地域とのつながりを再開し、今後も継続していけるように準備していきたいと考えています。

法人運営

1 会議等の開催状況

(1) 評議員会(3回開催)

R7.6.25 令和6年度決算及び事業報告、第14期役員の選任

評議員の選任報告、評議員選任・解任委員の選任報告

R7.8.6 りんどう会の事業・経営等について、議長の選出

R8.3.25 定款の改訂、令和7年度事業計画及び資金収支予算、職員の異動報告

(2) 理事会(5回開催)

第105回 R7.6.4 令和6年度事業報告及び決算、第14期役員の選任、評議員選任・解任委員の選任、役員等損害賠償保険の加入、令和7年度定時評議員会の招集

第106回 R7.6.25 理事長の選定、副理事長及び常務理事の選定

第107回 R7.7.23 管理運営規程の改訂(みなし決議)

第108回 R7.10.22 管理運営規程の改訂、給与規程の改訂、育児・介護休業等に関する規程の改訂、理事長及び常務理事の職務執行状況報告

第109回 R8.3.11 定款の改訂、管理運営規程の改訂、就業規則の改訂、給与規程の改訂、旅費規程の改訂、令和8年度事業計画及び資金収支予算、役員等損害賠償保険の加入、重要な職員の選任及び解任、令和8年3月評議員会の招集、理事長及び常務理事の職務執行状況報告

(3) 監査

監事は、理事会並びに評議員会に出席し、理事の職務の執行状況を監査した。また、決算等の監査結果を報告した。

R7.5.23 決算監査 令和6年度 事業及び会計処理全般の監査を実施

R7.9.9 定期監査 利用者預り金及び賃貸借契約について監査を実査

(4) 施設運営会議

- ・開催回数 40 回（毎週水曜日午後定例開催）
- ・構成員 正副理事長、常務理事、施設長（管理者）、事務長

2 法人運営事務

(1) 規程等の制定、改訂

- ・定款の改訂 第 109 回理事会 令和 8 年 3 月評議員会
- ・管理運営規程の改訂 第 107 回理事会 第 108 回理事会 第 109 回理事会
- ・給与規程の改訂 第 108 回理事会 第 109 回理事会
- ・育児・介護休業等に関する規程 第 108 回理事会
- ・就業規則の改訂 第 109 回理事会
- ・旅費規程の改訂 第 109 回理事会

(2) 登記関係

- ・社会福祉法人資産登記 (R7. 6. 30 登記申請)
- ・理事長重任登記 (R7. 7. 4 登記申請)

(3) 協定・賃貸借契約等関係（主なもの）

- ・長野市有財産賃貸借契約 こまざわハウス敷地及び西駐車場（契約期間 3 年）更新
契約日 H28. 4. 1 (面積変更 R2. 12. 1) 当年度分 687, 052 円
- ・駐車場賃貸借契約 第 2 駐車場分（自動更新）4 台＋プレハブ敷地（2 台）
契約日 H26. 4. 1 契約変更 H28. 6. 1（一部返還）
追加契約 2 台 R4. 6. 1～
追加契約 1 台 R6. 2. 1～ 追加後 月 27, 000 円
- ・「いなだの家」建物賃貸借契約（1 年契約）
契約日 R6. 3. 31（自動更新） 月 130, 000 円
旧契約日 H16. 4. 14（20 年契約） 月 130, 000 円
- ・「のくとまーる」当初の建物賃貸借契約（自動更新）
契約日 H24. 3. 26 月 150, 000 円
- ・「のくとまーる」の定員増分及び 207 号(物置)の建物賃貸借契約（自動更新）
契約日 H24. 9. 25（自動更新） 月 140, 000 円
- ・「いなだの家サテライト」ハイツ若夢 205 号室（上野）（契約期間 2 年）
契約日 R6. 10. 1～R7. 8. 31 解約 月 35, 000 円
- ・「いなだの家サテライト」ハイツ前田 C 号室（西三才）（契約期間 2 年）
契約日 R7. 9. 1 月 30, 000 円
- ・「のくとまーるサテライト」リーベ稲田Ⅱ102 号室（稲田）（契約期間 2 年）
契約日 R7. 8. 1 月 35, 000 円
- ・職員勤怠管理システム関連（フレッシュ本部・ワークス上駒・スローステップ）
クロノクラウド等サービス 契約先 (株)ミロク情報サービス
契約日 R2. 9. 9（保守料） 月 11, 000 円
タイムレコーダー 月 26, 312 円

- ・自動販売機設置協定 (本部・ワークス上駒に各1台設置)
協定日 R3.3.5 協定先 ダイードドリンク(株)
販売手数料=1月の総売り上げの18%
- ・カラオケ機材賃借料(フレッシュとくま) 月 28,600 円・・・(株)第一興商
- ・スマートエコシステムリース料(本部建物・ワークス上駒) 年 50,688 円
・・・オリックス(株)
- ・福祉大臣ソフト保守料(2026.3.1～2027.2.28) 年 132,000 円・・・リコージャパン(株)
- ・ワイズマン給付費ソフトリース料 月 42,020 円・・・リコージャパン(株)
- ・自動車リース契約・・・カーソリューションズ(株)
R3.9/17～ 60か月 セレナ ワークス(継続B) ……新車リース 月 51,150 円
- ・自動車リース契約・・・八十二オートリース(株)
R7.1/24～ 60か月 ミライース フレッシュ(宿泊) ……新車リース 月 38,170 円
R6.4/19～ 84か月 セレナ スローステップ(送迎) ……新車リース 月 68,200 円
R4.2/1～ 72か月 ハイゼットカーゴ ワークス(継続B) ……新車リース 月 24,420 円
R4.1/28～ 60か月 タント グループホーム ……新車リース 月 27,830 円
R4.1/28～ 60か月 タント 相談室(特定相談) ……新車リース 月 27,830 円
R8./1～ 24か月 アルト てくてく(居宅) ……再リース 月 23,100 円
R7.7/1～ 12か月 サクシード ワークス(継続B) ……再リース 月 35,530 円
R7.1/1～ 24か月 ヴィッツ フレッシュ(宿泊) ……再リース 月 25,740 円
R4.2/1～ 51か月 アルト ワークス(継続B) ……リースバック 月 11,220 円

(4) 業務委託等の契約

- ・廃棄物処理委託定期(宝資源開発(株)) H24.6.11(契約)
H31.2.1(覚書)
R7.4.1(改訂) 基本 月 16,819 円
- ・清掃業務委託(本部建物)・・・直富商事(株) 10月実施 374,900 円
- ・警備委託 夜間防災支援体制 (新日本警備保障(株))
フレッシュとくま(本館) H26.2.10(当初契約日) 月 9,900 円
グループホーム(こまざわハウス・いなだの家・のくとまーる)
H26.2.10(当初契約日) 月 27,280 円
- ・税理士会計指導料(長野東会計・小林税理士) 月 41,800 円
- ・健康診断委託 (財)全日本労働福祉協会 H13.1.17(自動更新)
R7年度実績 37人 300,408 円
- ・小型エレベーターメンテナンス ワークス上駒(ハナソニックホームエレベーター(株))
H23.4.1(自動更新) 年 111,100 円
- ・荷物昇降機保守点検 (株)カワフココーポレーション H13.2.1(自動更新) 年 74,800 円
- ・自動ドア保守管理業務委託(本部・ワークス上駒)
(株)長野ナブコ H30.6.1(自動更新) 年 158,400 円
- ・受水槽清掃保守点検 (株)三京 H25.9.1(自動更新) 年 36,850 円
- ・消防用設備保守点検
スローステップ分(ホーチキ(株)) H23.4.1(自動更新) 年 57,200 円

本部分	(ホーチキ(株))	H28. 4. 1(自動更新)	年	330,000 円
ワークス上駒分	(株)ナショナル防災)	H23. 4. 1(自動更新)	年	49,500 円
こまざわハウス	(新日本警備保障(株))	H26. 3. 1(自動更新)	年	22,836 円
いなだの家	(新日本警備保障(株))	H26. 3. 1(自動更新)	年	37,708 円
のくとまーる	(新日本警備保障(株))	H26. 3. 1(自動更新)	年	62,480 円
・ホームページホスティングサービス	(株)いとう	R4. 2. 1～	月	3,300 円
・ホームページドメイン管理料	(株)いとう		年	7,700 円
・ホームページサーバー証明書更新料	(株)いとう		年	39,600 円
・コピー機保守	本部 (株)蔦友)	R7. 9. 25～		
		1 枚あたり/白黒 2 円、カラー12 円、2 色モノカラー2 円		
・コピー機保守	ワークス上駒 (株)蔦友)	R6. 4. 23～		
		1 枚あたり/白黒 2.5 円、カラー15 円、2 色モノカラー8 円		
・コピー機保守	スローステップ (株)蔦友)	R4. 4. 22 (5 年間)		白黒 1 枚 2.8 円

3 施設及び設備整備について(新規)

(1) 固定資産購入等

(機械及び装置取得)

・小荷物専用昇降機リニューアル	取得年月日	R7. 9. 20	取得価格	2,244,000 円
(器具備品)				
・自走式芝刈り機 (共同募金補助)	取得年月日	R7. 5. 30	取得価格	264,000 円
・ノートパソコン 3 台	取得年月日	R7. 6. 13	取得価格	396,000 円
・経理事務用サーバー	取得年月日	R7. 8. 31	取得価格	1,448,200 円
・経理用ノートパソコン 2 台	取得年月日	R7. 8. 31	取得価格	483,780 円
・勤怠管理、給与計算用パソコン	取得年月日	R7. 9. 24	取得価格	234,410 円
・デジタルカラー複合機 (本部)	取得年月日	R7. 9. 25	取得価格	1,177,000 円
・グループホーム防犯カメラ 6 台	取得年月日	R7. 9. 10	取得価格	550,880 円
(ソフトウェア)				
・経理事務ソフト (福祉大臣)	取得年月日	R7. 8. 31	取得価格	1,122,000 円

4 資金の状況について(R8. 3. 31)

・寄附金収入	661,224 円
・当年度資金収支差額	△39,021,431 円
・当年度施設整備等資金積立額	10,000,000 円
・年度末施設整備等積立金総額	30,000,000 円
・年度末純資産総額	604,823,151 円
・年度末借入金残額	7,182,000 円

5 人事管理について

(1) 職員の資質の向上と公正な人事管理を目的とした人事管理システムにより次のとおり実施した。

ア 人事考課 (業務管理) の実施

- ・前期（４月～９月）業務の自己評価と施設長による評価を行った。

（２）雇用状況について（R7.4～R8.3）

- ・採用 正職員０人、嘱託職員０人、非常勤職員１人
- ・退職 正職員３人、嘱託職員０人、非常勤職員１人
- ・職転 嘱託職員⇒正職員３人、正職員⇒嘱託職員１人
- ・R8.3.31 在籍職員数（３月末退職者含む） ３９人
正職員２５人、嘱託職員３人、非常勤職員１１人(内当直職員４人)

６ 職員研修について

職員研修実施要綱（基本計画）に基づき、「令和７年度研修計画」を策定し、計画的な職員研修を行った。

（１）内部研修

- ・各事業所内でのＯＪＴによる研修の実施（新規職員等）（年間）
- ・朝の職員連絡会議での事象等報告（毎日）
- ・各事業所単位ミーティングでの研修（週１回）
- ・月例職員会議での研修、周知伝達等（月１回）
（制度改正等の解説、ＢＣＰ（業務継続計画）災害対応、ＡＥＤ使用方法、ヒヤリハット事例、人権啓発・虐待防止、安全運転、業務手順の周知伝達 など）

（２）外部での一般研修受講

- ・受講した研修等の項目と延べ日数 57 項目・84 日
- ・研修等受講者延べ数 75 人
- ・一人当たり平均研修日数 1.12 日
- ・57 項目研修開催地（長野市内 41、長野市以外県内 3、県外 1、オンライン 12）

（３）国家資格取得研修

- ・資格取得のための実務者研修 0 人
- ・社会福祉士資格取得 1 人

７ 施設及び事業経営について

（１）施設等の経営状況

- ① 指定生活介護事業（フレッシュとくま） 定員 17 人
日平均利用者数 17.8 人
- ② 指定短期入所事業（フレッシュとくま） 定員 3 人
日平均利用者数 0.8 人
- ③ 指定自立訓練（宿泊型）事業（フレッシュとくま） 定員 17 人
日平均利用者数 7.7 人
- ④ 指定自立訓練（生活訓練）事業（フレッシュとくま） 定員 6 人
日平均利用者数 4.2 人
- ⑤ 指定共同生活援助事業（グループホーム） 定員 28 人（R7.8～ 定員 28 人）
日平均利用者数 24.1 人
- ⑥ 指定自立生活援助事業（自立生活支援室） 定員 なし
月平均登録実人数 0.8 人

⑦ 指定就労継続支援B型事業 ワークス上駒 定員 34 人

日平均利用者数 25.4 人

⑧ 指定就労継続支援B型事業 ゆったりんどう 定員 14 人

日平均利用者数 13.3 人

⑨ 指定一般相談支援事業（相談室） 地域移行支援利用延べ月数 20 月
地域定着支援利用延べ人数 72 人

⑩ 指定特定相談支援事業（相談室） サービス等利用支援 219 件
継続サービス等利用支援 455 件

⑪ 指定居宅介護・重度訪問介護事業（ヘルパーステーションてくてく） 定員 なし
月平均登録実人数 30.5 人

（２）事故等の状況

・利用者の保険請求分 実績 なし

（３）事故、苦情等解決状況（第三者委員・ヒヤリハット事例報告）

発生日時	内 容	経過・解決
6/3(火) 午後 4 時頃	グループホームの利用者から第三者委員へ相談の電話があった。 (内容) ・外部からの嫌がらせをされているので、防犯カメラ等を設置して対応してほしい ・スタッフが威圧的であり、いじめられている感じがする ・スタッフの変更を希望する	・利用者は障害の症状として被害妄想的な症状がある ・以前より防犯の観点から、9月に防犯カメラの設置を予定していることを伝え、納得していただいた ・思いは受け止めるが、すぐに変えるのは難しいが、必要であれば変更をする旨を伝え納得していただいた ・よく思いを受け止めることで、それ以上の訴えはなかった。
7/28 (月) 午後 2 時頃	グループホームの利用者の自転車と小学生の自転車が衝突。 近所の店員さんが、警察と救急車に連絡してくれて搬送され、打撲、擦り傷と診断された。 相手側の小学生は膝にケガをしたが、治療の必要はなかった。	・双方の自転車保険で対応する ・利用者本人から職員に連絡があり、すぐに駆けつけてケガの状態や事故の状況を確認し、病院へ同行した ・事故の対応してくれた店員へのお礼及び家族へ報告を行った

発生日時	内 容	経過・解決
8/9(土) 11/27(木) 12/25(木) 1/31(土) 2/9(月) 2/18(水) 3/2(月)	生活訓練(宿泊)の利用者から、第三者委員へ苦情、要望、悩み相談、報告等の電話があった。 ・職員が自分のことを子ども扱いする ・言葉の暴力を改善してほしい ・「退所、退所」と何度も言われる ・退所先や生活の様子の報告があった	・電話の都度、第三者委員及び利用者に対し詳しい内容の聞き取りを施設長が行った ・「退所」という言葉は出していないが、注意をされたことが自分で出ていかれるのではないかと思った様子であった ・長野市障害者サポートセンターに虐待として届け出の必要あるか確認 ○虐待というより苦情としての扱いで良い ○どんな言い方であれ、相手の思いは事実なので、職員で共有し、不適切な言葉使いを改善するよう指摘があった ・事業所内で職員に周知し、併せて権利係会や職員会議の場で全職員へ報告をした
7/29(火) 午前2時頃	・グループホームのくとまーの非常ベルが鳴っていると入居者から世話人携帯に連絡が入る ・新日警から消防署にも通報される ・入居者同士が手分けをして全入居者へ声掛けをし、安否を確認した ・火元は見当らなかった ・職員が駆けつけた時には、消防署、警察、新日警が到着していた	・当時入居者がいない206号室の押し入れの中の火災報知器が高温のため故障し誤作動したことがわかる ・入居者へは誤報なので、安心して居室で休むように伝える ・消防署からは、実際の火事でなくてよかったが、夜間職員がいない対策を法人で考えてもらいたい ・再度、火災報知器の使用方法のマニュアルを職員、入居者で確認をし、毎月の避難訓練の強化を図った ・翌日、近隣住民に夜間騒動の謝罪を行う
1/26(月)	グループホーム利用者へ貼るタイプの精神薬(40mg 2枚)を貼るところを、同じ薬ではあるが他の利用者の精神薬(30mg 2枚)を貼ってしまった。	・いつもは一緒のところには保管しない薬が入っていた ・ミリ数に変更になったのかと思ったが、貼る前に確認しなかった ・ご本人の体調には変化はなかったが、主治医の指示を仰いだところ、「本人の処方より少ないものを貼っているのです、そのまま大丈夫」とのこと ・貼ってしまった薬は、他の利用者が、怠薬して残っていた薬を回収したものだった ・今後は別々に保管して、不明なことがあれば、確認をすることを徹底することにした

発生日時	内 容	経過・解決
3/4 ((水) 午前 7 時頃	生活訓練（宿泊）の利用者へ職員管理の薬を渡すと、しばらくして利用者から「服薬したと思ったのにまだ薬があります」と言われた。 まだ服薬していないではないか確認するが、利用者はわからない。そのまま持っていた薬を服薬していた。 その後、別の利用者から机の上に置いていた薬がない。と訴えがあり、服薬違いに気が付く。	・自分の分の薬と他の人の薬を服薬してしまった ・管理者から本人へ職員の目の届くところで休むよう指示をした ・主治医に連絡をし、誤って飲んだ薬の内容等伝えたところ、ふらつき等出るかもしれないが、本人の薬は、処方通りに服薬するよう指示があった ・その日 1 日、本人の様子を確認しながら服薬していただいたが変化はなかった ・今後は、職員の前で服薬するように再度徹底した ・不確実なことがあれば、しっかり確認することを徹底した

(4) 防災・安全対策

- ・地震、台風等災害のための消火、避難訓練

フレッシュとくま 12 回、ワークス上駒 2 回、スローステップ 2 回、グループホーム（いなだの家・こまざわハウス 各 2 回、のくとまーる 11 回）

- ・消火設備等の点検 2 回実施（専門業者に委託）

- ・感染症対策

新型コロナ等、感染症対策として、換気、利用者及び職員等の検温、3 密回避、マスク、手洗い、消毒等の徹底、施設内の感染防止として非接触型手指消毒機等活用した。

8 第 4 次 3 ヶ年計画の進捗状況について（令和 6 年度～8 年度）

A 指定生活介護事業「フレッシュとくま」（定員 17 人）

計画期間での検討事項	検討内容	令和 6 年度の検討結果
1 利用者の高齢化に伴い、事業の実施場所を 4 階から下層階へ移転が必要	・4 階から 1 階に移転する ・旧こまざわハウス跡地に新築する	・事業の実施場所は、他の事業所の移転と併せ検討を継続する
2 利用時間に応じた報酬減算への対応	・平均利用者数の計算方法の変更に伴う、職員配置数や利用定員の変更を検討	・今後の利用者数の変動を見極め、職員配置数や利用定員の変更の検討を継続する

B 指定短期入所事業「フレッシュとくま」（定員 3 人）

計画期間での検討事項	検討内容	令和 6 年度の検討結果
1 現在の建物、職員数で受け入れ可能な利用者を受け入れる	・定期利用者が増えている状況で、現状に即した定員変更を検討	・多機能の組み換えと同時に併設型事業所から空床型事業所へ変更する

C 指定自立訓練（宿泊型）事業「フレッシュとくま」（定員 17 人）

計画期間での検討事項	検討内容	令和 6 年度の検討結果
1 グループホームへの事業転換などを検討	・ 当面の宿泊型自立訓練の継続する ・ 今後の転換については、行政に相談をしながら検討	・ 現状と照らし合わせ、定員 15 名とする。

D 指定自立訓練（生活訓練）事業「フレッシュとくま」（定員 6 人）

計画期間での検討事項	検討内容	令和 6 年度の検討結果
1 宿泊型への入居状況により利用者数が増減する	・ 宿泊型自立訓練事業の継続と併せ日中生活訓練も実施方針を検討する	・ 宿泊型自立訓練と支援を連動させるため、事業場所を本部建物へ移し、現在の多機能を組み替える。

E 指定共同生活援助事業「グループホーム」（定員 28 人）

計画期間での検討事項	検討内容	令和 6 年度の検討結果
1 「いなだの家」は交通の便が悪く利用希望者が少ないことから、いつまで借りるか	・ 20 年契約の終了時に 1 年契約（自動更新）に変更したが、事業継続するかは更に検討する	・ 居住形態から利用希望者もあり、契約更新していく
2 「のくとまーる」は、老朽化に伴い、グループホーム全体の移転が必要	・ 一人暮らし希望の利用者には、転居を推奨するなど検討	・ 利用希望者が多いことから 2 階につながる階段の修繕を大家に依頼し修繕の方向になる
3 「こまざわハウス」利用者の高齢化に伴う支援の見直し	・ 単独通院や公共交通機関の減便に伴い移動が困難な利用者に対し、交通費徴収の規定を設け実施できるよう検討	・ 医師の指導を正確に理解できない利用者に対する通院同行や、交通機関の減便等により移動が困難な利用者に対して交通費をいただき対応する

F 指定自立生活援助事業「自立生活支援室」

計画期間での検討事項	検討内容	令和 6 年度の検討結果
1 利用実績は多くは見込めない	・ 宿泊型やグループホームから一人暮らしに移行した利用者が、安心して生活するために必要なことからサービスの継続提供を検討	・ 自立支援協議会へサービスの紹介をしていく中で、新規利用希望者が増えつつある ・ 同行して支援ができるサービスは、居宅介護ではできないことが多いことから、このサービスは継続していく

G 指定就労継続支援B型事業「ワークス上駒」(定員 34 人)

計画期間での検討事項	検討内容	令和 6 年度の検討結果
1 工賃アップを目指し、年間を通し、安定した作業量の確保	・年間を通した作業の受託拡大を図るための検討	・新規の外作業の拡大を図り、今後も単価のいい作業を受注するよう努める
2 利用希望者の減少に伴う対応	・1 日平均利用者数を見て、定員変更を検討	・休止するゆったりんどうの利用者を受け入れることから定員を 40 人へ変更

H 指定就労継続支援B型事業「ゆったりんどう」(定員 14 人)

計画期間での検討事項	検討内容	令和 6 年度の検討結果
1 作業スペースの確保	・スローステップの建物を立て直すか、移転するか検討	・スローステップ建物は老朽化が著しいことから令和7年度をもって使用を中止する ・ゆったりんどうは休止する ・利用者についてはワークス上駒へ移るか、又は他の事業所を紹介する

I 指定一般相談支援事業・指定特定相談支援事業「相談室」

計画期間での検討事項	検討内容	令和 7 年度の検討結果
1 地域生活の継続を目指し、地域連携の強化	・地域に根差した計画の充実を検討	・ニーズに合った福祉サービスを受けられるよう調整する ・関係機関との連携、調整を行い、サービス状況の確認をする

J 指定居宅介護・重度訪問介護事業「ヘルパーステーションてくてく」

計画期間での検討事項	検討内容	令和 7 年度の検討結果
1 利用者数は増加しているが、今後は事業を拡充していくのか検討	・地域生活に対応し、長期間、個別対応等できるサービス提供の継続、拡充を検討	・引き続き事業を継続し、まずは職員のスキルアップを目指す

9 その他

- ・会報誌（No68～No69）の発行
- ・年報（令和6年度版）の発行
- ・地域、行政、関係団体、地元組織等との連携協力に努めた。
- ・長野市障害者自立支援協議会（長野市障害ふくしネット）への参加協力をした。
- ・視察や見学・学生実習・職員研修生等を受け入れた。

高崎福祉専門学校1人、長野養護学校1人・見学25人、若槻養護学校2人、長野看護専門学校、須坂看護専門学校、清泉女学院大学看護学部より複数名の実習生を受け入れた。

- ・北部中学校の職場体験学習として生徒2名を受け入れた。

監査報告書(写)

令和8年5月22日

社会福祉法人 長野りんどう会
理事長 松橋 良三 様

社会福祉法人 長野りんどう会

監 事 塩澤 一郎 (印)

監 事 丹後 恵二 (印)

私たち監事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類(計算書類及びその附属明細書)及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

ア 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

イ 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 意見

ア 各サービス事業の利用者が減少傾向にあり、定員に満たない状況がみられます。

定員などについて適時見直しを行っておりますが、より一層の安定した事業運営に努めてください、

イ 各種会計帳簿の名称が経理規程と相違している箇所があることから、規程の見直しをしてください。

ウ 第5次3カ年計画の作成を進めてください。

資料 1

令和 7 年度 施設全体行事

内 容	実 施 日	会 場
長野りんどう会後援会総会	R 7. 6. 20 (金)	ワークス上駒&ホール
ライフサポートりんどう家族会総会	R 7. 6. 20 (土)	ワークス上駒&ホール
ライフサポートりんどう 文化祭	R 7. 11. 21 (金)	ワークス上駒&ホール
戸隠そば手打ち実演会	R 7. 12. 18 (木) R 8. 1. 21 (水)	ワークス上駒&ホール 1 階 フレッシュとくま 4 階
スローステップさよなら会	R 8. 3. 27 (金)	スローステップ 2 階

資料 2

令和 7 年度 各専門係活動状況

* 進行管理者

係	令和 7 年度の活動	構成員
1 年報・会報誌係	目標 ・年報を遅滞なく発行する ・法人の広報活動のひとつとして、会報誌を発行していく	* 高野 一戸 田村あ 小林清 西澤
	具体的活動 ・年報の編集・校正、ウェブサイトでの公開 ・会報誌の企画、編集・校正、印刷手配、配布・発送手配	
	まとめと成果 ・年報及び会報誌の発行業務を遅滞なく実行することができた。 ・会報誌では、写真やイラストを取り入れるなどの工夫をし、事業の様子等を発信することができた。	
2 家族会係	目標 ・家族会会員一人ひとりの思いや経験を活かして、楽しく参加できる活動を目指す	* 萩原 荒井 関 巾 前山
	具体的活動 ・親睦交流会・会員学習会・家族の日の開催 ・家族会機関紙「とくまの風」の発行 ・古紙、資源回収による資金確保 ・雑誌、書籍の案内、情報発信 ・NPO法人ながのかれんへの協力	
	まとめと成果 ・交流会では、会員皆様とのつながりが持てる良い機会が得られた。 ・学習会では、昨年に続き地域資源について考える機会となった。また、各家庭に応じた相談場所を知り参考になったと言う意見を頂くことができた。 ・家族の日の参加者は毎回少ない状況が続いている。活動頻度や内容等は、今後も会員皆様からのご意見を参考にしながら検討していく。	

係	令和7年度の活動	構成員
3 権利・身体拘束適正化・パワハラ係	目標 ・ヒヤリハット ・苦情対応・身体拘束・虐待についての対応 ・第三者委員の活用	* 上野 小沼 本山 山崎 小林千
	具体的活動 ・月1回の定期懇談会（月1回） ・第三者委員と苦情解決責任者を招いての定期懇談会（7月、12月、3月の年3回）	
	まとめと成果 ・ヒヤリハット、皆様の声を係で共有し検討した。 ・身体拘束、虐待の有無についても確認した。 ・定期懇談会での意見は今後に生かすため職員会にて報告した。	
4 ホームページ・インスタ係	目標 ・動きのあるホームページの運用 ・事業方針に合わせた内容の更新	* 田村郁 北澤美 清水 傳田
	具体的活動 ・ホームページではInstagramの更新により、トップページの視覚的な動きを出すことができた。 ・事業所ごとの適時更新により、ホームページの動きの頻度を増やせた。	
	まとめと成果 ・ホームページだけでなく、Instagramの個々のシステム更新などでトラブルがあり、どちらも短期間の内に処理ができたが、適宜のチェックが必要である。 ・Instagramも更新され、利用者の方のフォローも継続して付いている。ホームページでの発信が加算の一つでもあるので、一層の情報発信と広報利用が見込まれる。	

係	令和7年度の活動	構成員
5 B C P係 (業務継続計画)	目標 ・感染症発生時と災害発生時のB C P (業務継続計画)の見直し ・災害時の備蓄品の購入、管理	* 北澤純 上野 武井 山口
	具体的活動 ・各事業所にあったB C P (業務継続計画)の見直し ・職員会議にて周知し、感染症対策の学習会を実施 ・感染症対策のルールづくり ・長野市との指定福祉避難所の協定	
	まとめと成果 ・感染症発生時のB C Pは2類対応から5類対応へ見直しをすることができた。今後もより各事業所にあったB C Pの見直しが必要。 ・令和7年3月に長野市と指定避難所の協定を結んだ。指定福祉避難所としての対応、マニュアルや体制づくりを今後検討していく。	
6 レクレーション係	目標 ・利用者が楽しいと思えるレクリエーションを企画する	* 風間 小林孝 清水 関 四柳 和田
	具体的活動 ・昨年度おこなったのど自慢大会をさらにバージョンアップするべく検討した。	
	まとめと成果 ・のど自慢だけではなく、点数をつけないステージ発表や作品展示もできて、様々な利用者の発表の場になったと思う。	

資料 3

令和 7 年度 地域交流・地域貢献事業への参加状況

行事名・場所・日時	交流内容	参加人数
○農村女性ネットワークによる食事会 フレッシュとくま (R7. 4. 30)	フレッシュとくまにて農村女性ネットワークの方（3 名）との食事会を実施しました。利用者や職員も協力して調理や配膳をし、地元で採れた野菜を使った料理の説明を受けながら食事を楽しみました。	利用者：10 名 職員：2 名
○上駒沢地区獅子舞 ワークス上駒&ホール (R7. 9. 7)	ワークス上駒&ホールにて、上駒沢地区による獅子舞を実施してもらい、地域との交流ができました。	利用者：6 名 職員：1 名
○若槻総フェスタ 若槻支所 (R7. 10. 19)	若槻総フェスタに参加し、靴下の販売をしました。販売を通して地域との交流ができ、ライフサポートりんどうを知って頂ける良い機会になりました。	利用者：2 名 職員：1 名
○ワークス上駒による上駒沢地区清掃 ワークス上駒&ホール及びスローステップ周辺 ① R7. 4. 10 ② R7. 6. 12 ③ R7. 9. 11 ④ R7. 11. 13	ワークス上駒とスローステップの事業所と共同で、上駒沢地区の清掃を実施しました。周辺の除草作業及び外溝清掃等を行い、地区の環境美化に貢献することができました。	① 利用者：34 名 職員：5 名 ② 利用者：30 名 職員：5 名 ③ 利用者：25 名 職員：8 名 ④ 利用者：28 名 職員：5 名
○徳間の里祭り 徳間小学校 (R7. 11. 15)	地域交流として昨年も参加した徳間の里祭りに参加しました。靴下の販売をおこない地域の人たちとの交流ができました。	利用者：2 名 職員：1 名

資料 4

令和 7 年度 施設利用料等一覧（月額）

施 設 種 別	項 目		金 額(円)	そ の 他
自立訓練(宿泊型)事業 (フレッシュとくま)	利用料		21,000	
	食事代		25,000	朝・夕(昼食代は含まない)
	日常生活費		3,500	
	光熱水費		8,700	共用部分
	個室電気代		実費	
生活介護事業・自立訓練(生活訓練)事業 (フレッシュとくま)	昼食代(日額)		200	(※令和 8 年 4 月 1 日より 250 円に変更)
短期入所事業 (フレッシュとくま)	食事代(日額)		830	朝・夕(昼食代は含まない)
	諸経費(日額)		1,030	光熱水費、その他日常生活費
就労継続支援 B 型事業 (ワークス上駒・ゆったりんどう)	昼食代(日額)		200	(※令和 8 年 4 月 1 日より 250 円に変更)
共同生活援助事業 (グループホーム)	いなだの家	家賃	25,000	所得により上限 10,000 円補助あり
		食事代	23,000	朝・夕(昼食代は含まない)
		個室電気代	実費	
		諸経費	13,000	共用部分光熱水費、その他日常生活費
	こまざわ ハウス	家賃	36,000	所得により上限 10,000 円補助あり
		食事代	23,000	朝・夕(昼食代は含まない)
		個室電気代	実費	
		諸経費	16,000	共用部分光熱水費、その他日常生活費
	のくとまーる	家賃	30,000	所得により上限 10,000 円補助あり
		食事代	実費	
		個室電気代	実費	個室電気代
		諸経費	3,500	共用部分光熱水費、その他日常生活費
	サテライト リーベ稲田Ⅱ	家賃	35,000	所得により上限 10,000 円補助あり
		食事代	実費	
		光熱水費	実費	
		諸経費	11,060	その他日常生活費
	サテライト ハイツ前田	家賃	30,000	所得により上限 10,000 円補助あり
		食事代	実費	
		光熱水費	実費	
		諸経費	8,625	その他日常生活費

資料 5

令和 7 年度 職員外部研修参加状況一覧

番号	名 称	主 催	期 日	日数	人数	延日
1	相談支援連絡会	長野市障害福祉課	5/2	1	1	1
2	令和 7 年度セルフセンター研修会	長野県セルフセンター	5/29	1	1	1
3	第 1 回しごと部会	長野市障害者ふくしネット	5/30	1	2	2
4	新人育成担当研修	長野県社会福祉協議会	6/5・7/1	2	2	4
5	社会保険制度説明会	長野南年金事務所	6/12	1	1	1
6	第 1 回障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市障害福祉課	6/12	1	2	2
7	業務改善助成金・補助金活用セミナー	長野県 B i z サポ事務局	6/19	1	1	1
8	福祉職員生涯研修 管理者課程	長野県社会福祉協議会	7/2	1	1	1
9	ストレスチェック集団集計の味方、使い方	長野産業保健総合支援 C	7/3	1	1	1
10	長野県セルフセンター北信ブロック研修会	長野県セルフセンター協議会	7/4	1	1	1
11	S S T 普及協会 30 周年本大会	一般社団法人 SST 普及協会	7/5～6	2	1	2
12	指定相談支援事業所連絡会	長野市障害者ふくしネット	7/7	1	1	1
13	刈払機取り扱い作業教育	林業・木材製造業労働災害防止協会	7/15	1	2	2
14	治療と仕事の両立支援 実践編	長野産業保健総合支援 C	7/16	1	1	1
15	かつどう部会生活介護事業所連絡会	長野市障害者ふくしネット	7/18	1	1	1
16	令和 7 年度福祉経営セミナー	長野県社会福祉法人経営青年会	7/22	1	1	1
17	第 2 回 しごと部会	長野市障害者ふくしネット	7/29	1	1	1
18	和 7 年度工賃向上セミナー I	長野県セルフセンター協議会	7/30	1	2	2
19	社会福祉法人 人事労務管理講座	全国社会福祉法人経営協	8/4～5	2	1	2
20	メンタルヘルス講習会（一般職員向け）	ソエルクラブ	8/7	1	1	1
21	苦情対応実践講座	県福祉サービス運営適正化委員会	8/7	1	2	2
22	OJT リーダー養成研修	長野県社会福祉協議会	8/8・9/12	2	2	4
23	くらし部会	長野市障害者ふくしネット	8/21	1	1	1
24	地域の就労支援を支えるための合同スキルアップ研修会	長野市障害者ふくしネット	9/16	1	1	1
25	事業主・公正採用選考人権啓発推進研修会	ハローワーク長野	9/18	1	1	1
26	第 1 回長野市障害者ふくしネット全体協議会	長野市障害者ふくしネット	9/25	1	2	2
27	福祉職員生涯研修 チームリーダー課程	長野県社会福祉協議会	9/30～10/1	2	3	6
28	e ラーニング 「Excel」中級	ソエルクラブ	10/1～	1	1	1
29	e ラーニング powerpoint 講座	ソエルクラブ	10/1～	1	1	1

番号	名 称	主 催	期 日	日数	人数	延日
30	精神保健福祉担当者基礎研修	長野県精神保健福祉センター	10/6	1	1	1
31	令和7年度苦情対応システム研修会	長野県社会福祉協議会	10/8	1	3	3
32	社会保険事務講習会	日本年金機構・協会けんぽ	10/9	1	1	1
33	工賃向上のポイントと価格設定	セルフCから講師派遣研修	10/9	1	1	1
34	サービス管理責任者現任更新研修	長野県相談支援専門員協会	10/16～17	2	1	2
35	長野市引きこもり講演会	長野市保健所健康課	10/22	1	1	1
36	第2回障害者虐待防止・権利擁護研修	長野市障害福祉課	10/22	1	2	2
37	第2回相談支援専門員スキルアップ研修	長野市障害者ふくしネット	10/27	1	1	1
38	第2回生活介護事業所研修	長野市障害者ふくしネット	10/31	1	1	1
39	普通救命講習Ⅰ	長野市消防局	11/13	1	1	1
40	がん治療と仕事の両立支援	長野市産業保健センター	11/14	1	1	1
41	管内ケアマネジャー連絡会	地域包括支援センター 富竹の里	11/14	1	1	1
42	M J S システム研修会	ミロク情報サービス	11/26	1	1	1
43	累犯障害者・高齢者の支援を考えるセミナー	長野県地域定着支援センター	11/26	1	1	1
44	カスタマーハラスメントとの付き合い方を考える	長野県社会福祉協議会	11/26	1	1	1
45	自殺対策支援者研修会	長野市保健所健康課	12/4	1	1	1
46	福祉人材確保・定着支援セミナー	長野県社会福祉協議会	12/8	1	1	1
47	年金委員・健康保険委員合同研修会	長野南年金事務所	12/9	1	1	1
48	しごと部会就労選択支援ワーキング報告会	長野市障害者ふくしネット	12/9	1	1	1
49	eラーニング excel 講座	ソエルクラブ	12/25	1	1	1
50	社会福祉法人会計実務者決算講座	全国社会福祉法人経営協	1/14	1	1	1
51	心配ごと相談所等相談員研修	長野県社会福祉協議会	1/15	1	2	2
52	年金説明会	長野南年金事務所	1/27	1	1	1
53	令和7年度個別支援計画作成研修	長野県相談支援専門員協会	1/27	1	1	1
54	つながりサポーター養成講座	長野県社会福祉協議会	2/3	1	1	1
55	福祉職員生涯研修 中堅職員課程	長野県社会福祉協議会	2/4～5	2	2	4
56	ふくしネット地域で移行委員会(学習会)	長野市障害者ふくしネット	2/5	1	2	2
57	第3回障害者虐待防止・権利擁護研修	長野市障害福祉課	2/27	1	3	3

57 研修（オンライン 12 市内 41 県内 3 県外 1） 64 日 延 75 人 86 日

資料 6

令和 7 年度 視察受入状況

視察団体名	視 察 日	人 数
長 野 養 護 学 校	R7. 6/13 (金)	高等部 1 学年 生徒 24 名 教員 8 名

資料 7

令和 7 年度 実習生受入状況

実習依頼機関	実 習 生	実習期間	実習内容
長野看護専門学校 (第 2 看護学科)	3 年生 : 29 名	R7. 5/8～R7. 9/30 (うち 15 日間)	精神看護学実習
須坂看護専門学校	3 年生 : 6 名	R7. 5/28、5/29、8/27 8/28、10/15、10/16	精神看護学実習
清 泉 大 学	3 年生 : 77 名	R7. 9/15～R8. 1/23 (うち 16 日間)	精神看護学実習
高崎福祉カレッジ	3 年生 : 1 名	R7. 5/19～R7. 6/12 (うち 16 日間)	ソーシャルワーク実習 (精神保健福祉士)
長 野 養 護 学 校	2 年生 : 2 名	・ R7. 6/3～6/10(1 名) ・ R7. 6/16～6/20(1 名) ・ R7. 11/14～11/21(1 名) ・ R7. 11/5～11/11(1 名)	前期、後期現場実習
若 槻 養 護 学 校	3 年生 : 1 名	R7. 5/21、7/6、8/27 9/17、10/15、11/12	デュアル型現場実習
	2 年生 : 1 名	R7. 10/15、11/12	

3 令和7年度 収入支出決算状況

法人単位資金収支計算書

(自) 令和 7年 4月 1日 (至) 令和 8年 3月31日

(単位: 円)

勘 定 科 目			予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	9,770,000	9,719,421	50,579
		障害福祉サービス等事業収入	209,196,000	215,978,841	△6,782,841
		経常経費寄附金収入	600,000	661,224	△61,224
		受取利息配当金収入	90,000	572,577	△482,577
		その他の収入	410,000	626,111	△216,111
		事業活動収入計 (1)	220,066,000	227,558,174	△7,492,174
	支出	人件費支出	164,239,000	156,938,978	7,300,022
		事業費支出	27,849,000	28,191,592	△342,592
		事務費支出	27,640,000	18,837,198	8,802,802
		就労支援事業支出	10,070,000	10,187,041	△117,041
支払利息支出		22,000	21,598	402	
その他の支出		810,000	0	810,000	
事業活動支出計 (2)		230,630,000	214,176,407	16,453,593	
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		△10,564,000	13,381,767	△23,945,767	
施設整備等による収支	収入	施設整備補助金収入	1,500,000	190,000	1,310,000
		施設整備等寄附金収入	100,000	0	100,000
		施設整備等収入計 (4)	1,600,000	190,000	1,410,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出	1,512,000	1,512,000	0
		固定資産取得支出	16,625,000	8,020,270	8,604,730
		ファイナンス・リース債務の返済支出	2,056,000	1,432,200	623,800
		施設整備等支出計 (5)	20,193,000	10,964,470	9,228,530
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		△18,593,000	△10,774,470	△7,818,530
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	1,300,000	0	1,300,000
		その他の活動による収入	243,000	242,792	208
		その他の活動収入計 (7)	1,543,000	242,792	1,300,208
	支出	投資有価証券取得支出	0	30,051,000	△30,051,000
		積立資産支出	16,720,000	11,820,520	4,899,480
		その他の活動支出計 (8)	16,720,000	41,871,520	△25,151,520
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		△15,177,000	△41,628,728	26,451,728
予備費支出 (10)		4,000,000	0	4,000,000	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		△48,334,000	△39,021,431	△9,312,569	

前期末支払資金残高 (12)	186,735,000	209,704,562	△22,969,562
当期末支払資金残高 (11) + (12)	138,401,000	170,683,131	△32,282,131

法人単位事業活動計算書

(自) 令和 7年 4月 1日 (至) 令和 8年 3月31日

(単位：円)

勘 定 科 目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)－(B)
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	9,719,421	9,610,515	108,906
		障害福祉サービス等事業収益	215,978,841	217,651,018	△1,672,177
		経常経費寄附金収益	661,224	362,670	298,554
		サービス活動収益計(1)	226,359,486	227,624,203	△1,264,717
	費用	人件費	158,574,898	156,665,721	1,909,177
		事業費	28,191,592	27,433,879	757,713
		事務費	18,837,198	14,960,709	3,876,489
		就労支援事業費用	10,187,041	10,784,639	△597,598
		減価償却費(サービス)	17,204,729	17,640,981	△436,252
		国庫補助金等特別積立金取崩額(サ)	△7,813,284	△7,793,713	△19,571
サービス活動費用計(2)		225,182,174	219,692,216	5,489,958	
サービス活動増減差額(3)=(1)－(2)		1,177,312	7,931,987	△6,754,675	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	544,100	96,072	448,028
		その他のサービス活動外収益	626,111	3,186,739	△2,560,628
		サービス活動外収益計(4)	1,170,211	3,282,811	△2,112,600
	費用	支払利息	21,598	25,679	△4,081
		その他のサービス活動外費用	0	0	0
		サービス活動外費用計(5)	21,598	25,679	△4,081
	サービス活動外増減差額(6)=(4)－(5)		1,148,613	3,257,132	△2,108,519
経常増減差額(7)=(3)+(6)		2,325,925	11,189,119	△8,863,194	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	190,000	0	190,000
		その他の特別収益	242,792	242,792	0
		特別収益計(8)	432,792	242,792	190,000
	費用	固定資産売却損・処分損	110,197	5,683,081	△5,572,884
		国庫補助金等特別積立金積立額	190,000	0	190,000
		その他の特別損失	165,600	165,600	0
		特別費用計(9)	465,797	5,848,681	△5,382,884
特別増減差額(10)=(8)－(9)		△33,005	△5,605,889	5,572,884	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		2,292,920	5,583,230	△3,290,310	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		230,362,876	244,779,646	△14,416,770
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		232,655,796	250,362,876	△17,707,080
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		0	0	0
	その他の積立金積立額(16)		10,000,000	20,000,000	△10,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)－(16)		222,655,796	230,362,876	△7,707,080

法人単位貸借対照表

令和 8年 3月 31日現在

(単位：円)

資 産 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	176,433,019	214,823,446	△38,390,427
現金預金	141,052,221	181,868,835	△40,816,614
事業未収金	34,193,978	32,139,021	2,054,957
貯蔵品	258,211	218,211	40,000
立替金	0	9,000	△9,000
前払金	0	588,379	△588,379
前払費用	894,089	0	894,089
仮払金	34,520	0	34,520
固定資産	465,679,130	433,130,743	32,548,387
基本財産	362,745,233	372,619,035	△9,873,802
土地(基本)	107,392,800	107,392,800	0
建物(基本)	254,352,433	264,226,235	△9,873,802
定期預金(基本)	1,000,000	1,000,000	0
その他の固定資産	102,933,897	60,511,708	42,422,189
建物	2,439,782	2,556,602	△116,820
建物附属設備	2	158,962	△158,960
構築物	7,084,539	7,672,168	△587,629
車輛運搬具	3	3	0
器具及び備品	7,083,727	5,087,369	1,996,358
有形リース資産	4,347,750	5,779,950	△1,432,200
権利	130,000	130,000	0
ソフトウェア	972,400	194,003	778,397
リサイクル預託金	30,630	30,630	0
その他固定資産（無形）	780,000	680,000	100,000
投資有価証券	30,039,715	0	30,039,715
退職給付引当資産	20,009,360	18,207,840	1,801,520
施設整備積立資産	30,015,989	20,014,181	10,001,808
資産の部合計	642,112,149	647,954,189	△5,842,040
負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減
流動負債	8,336,038	8,063,084	272,954
事業未払金	3,980,412	3,525,229	455,183
1年以内返済予定設備資金借入金	1,512,000	1,512,000	0
1年以内返済予定リース債務	1,074,150	1,432,200	△358,050
預り金	104,225	5,405	98,820
職員預り金	1,665,251	1,588,250	77,001
固定負債	28,952,960	29,737,590	△784,630
設備資金借入金	5,670,000	7,182,000	△1,512,000
リース債務	3,273,600	4,347,750	△1,074,150
退職給付引当金	20,009,360	18,207,840	1,801,520
負債の部合計	37,288,998	37,800,674	△511,676
純 資 産 の 部			
基本金	171,470,885	171,470,885	0
第1号基本金	81,840,885	81,840,885	0
第3号基本金	89,630,000	89,630,000	0
国庫補助金等特別積立金	180,696,470	188,319,754	△7,623,284
その他の積立金	30,000,000	20,000,000	10,000,000
設備等整備積立金	30,000,000	20,000,000	10,000,000
次期繰越活動増減差額	222,655,796	230,362,876	△7,707,080
次期繰越活動増減差額	222,655,796	230,362,876	△7,707,080
(うち当期活動増減差額)	2,292,920	5,583,230	△3,290,310
純資産の部合計	604,823,151	610,153,515	△5,330,364
負債及び純資産の部合計	642,112,149	647,954,189	△5,842,040

財 産 目 録

令和 8年 3月 31日 現在

(単位:円)

貸借対照表 科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却 累計額	貸借対照表 価額
Ⅰ 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
現金	現金手許有高	—	運転資金として	—	—	207,718
普通預金	八十二長野銀行	—	〃	—	—	139,858,376
	長野北支店	—	〃	—	—	986,127
	ながの農業協同組合 吉田支所	—	〃	—	—	986,127
小計						141,052,221
事業未収金		—	自立支援給付費2,3月 他	—	—	34,193,978
貯蔵品		—	災害用備蓄備品	—	—	258,211
前払費用		—	GH(サテライト含)家賃 他	—	—	894,089
仮払金		—	国債購入時経過利子	—	—	34,520
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	長野市大字徳間 3222番地	H15年度	第二種社会福祉事業 である、フレッシュとくま 施設に使用	29,200,000	—	29,200,000
	長野市大字上駒沢 401番地1	H22年度	第二種社会福祉事業 である、こまざわハウス 施設に使用	10,696,000	—	10,696,000
	長野市大字上駒沢 429番地1	R2年度	第二種社会福祉事業 である、ワークス上駒施設、ス ローステップ施設に使用	67,000,000	—	67,000,000
	長野市大字上駒沢 401番地16		第二種社会福祉事業 である、ワークス上駒施設 に使用	15,000	—	15,000
	長野市大字上駒沢 402番地7		第二種社会福祉事業 である、ワークス上駒施設 に使用	6,300	—	6,300
	長野市大字上駒沢 401番地15		第二種社会福祉事業 である、ワークス上駒施設 に使用	475,500	—	475,500
	小計					
建物	長野市大字徳間 3222番地	H11年度	第二種社会福祉事業 である、フレッシュとくま 施設に使用	225,755,938	112,200,371	109,941,366
	長野市大字上駒沢 429番地1	H22年度	第二種社会福祉事業 である、ワークス上駒 施設に使用	134,403,476	54,735,818	79,667,658
	長野市大字上駒沢 429番地1	R2年度	第二種社会福祉事業 である、スローステップ 施設、東物置に使用	330,000	255,613	74,387
	長野市大字上駒沢 426番地3	R4年度	第二種社会福祉事業 である、新こまざわ ハウス施設に使用	72,832,300	10,330,047	62,502,253
	長野市大字徳間 3222番地	R7年度	第二種社会福祉事業 である、フレッシュとくま 施設に使用	2,244,000	77,231	2,166,769
	小計					
定期預金	八十二銀行 長野北支店	—	第二種社会福祉事業 特段の指定なし	—	—	1,000,000
基本財産合計						362,745,233

貸借対照表 科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却 累計額	貸借対照表 価額
(2) その他の固定資産						
建物	長野市大字上駒沢 429番地1他	H18年度～	第二種社会福祉事業 である、ワークス上駒施設、ス ローステップ施設に使用	3,605,307	1,165,525	2,439,782
建物付属設備	防災監視盤 他	H30年度	第二種社会福祉事業 である、フレッシュとくま 施設等に使用	1,652,400	1,652,398	2
構築物	スローステップ塀・駐車場 他	H12年度～	第二種社会福祉事業 である、フレッシュとくま 施設等に使用	12,507,740	5,423,201	7,084,539
車輛運搬具	トヨタ ハイエース 他2台	H23年度～	〃	6,043,718	6,043,715	3
器具及び備品	防犯カメラ装置他	H12年度～	〃	36,179,969	29,096,242	7,083,727
有形リース資産	日産セレナ2台	R3年度～	〃	8,797,800	4,450,050	4,347,750
権利	電話加入権	H12年度～	〃	130,000	—	130,000
ソフトウェア	経理ソフト他	H24年度～	〃	6,478,180	5,505,780	972,400
リサイクル 預託金	トヨタ ハイエース 他2台	H23年度～	〃	30,630	—	30,630
その他 固定資産	グループホーム 敷金	H16年度～	第二種社会福祉事業 である、指定共同生活 援助施設で使用	780,000	—	780,000
投資有価証券	利付国債(2年) 第477回	R7年10月	将来における資金支出 に備えるため	30,051,000	11,285	30,039,715
退職給付 引当資産	県社会福祉協議会 年金共済預け金	—	将来における職員の退 職金に備えるため	—	—	20,009,360
その他の固定資産合計						102,933,897
固定資産合計						465,679,130
資産合計						642,112,149
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	就労事業工賃 他	—		—	—	3,980,412
1年以内返済 予定設備 資金借入金	独立行政法人 福祉医療機構	—		—	—	1,512,000
1年以内返済 予定リース 債務	八十二カーリース 他	—		—	—	1,074,150
預り金	税理士報酬源泉所 得税税預り他	—		—	—	104,225
職員預り金	社保、所得税 他	—		—	—	1,665,251
流動負債合計						8,336,038
2 固定負債						
設備資金 借入金	独立行政法人 福祉医療機構	—		—	—	5,670,000
リース債務	八十二カーリース 他	—		—	—	3,273,600
退職給付 引当金	県社会福祉協議会 年金共済	—		—	—	20,009,360
固定負債合計						28,952,960
負債合計						37,288,998
差引純資産						604,823,151

Ⅱ 令和7年度 各サービス事業の実績

1 指定生活介護事業 「フレッシュとくま」 (定員17人)

令和7年度は、利用者に安定した活動を提供し、体調を崩さず安定して継続利用ができるよう支援した。

1日平均利用者数は17.8人で、定員を少し上回る利用者数であった。給付費収入は24,317千円で前年度と比べて1,009千円減となった。

(1) 主な取り組み

- ・利用者が見通し立てやすいように安定した日中活動を提供した。
- ・利用者が楽しく思えるような活動を検討し、取り入れた。
- ・軽作業を行い、活動にメリハリをつけた。
- ・精神的不調だけではなく内科的不調も早期に発見できるよう、利用者への健康観察を毎日重点的に行った。
- ・希望する利用者には、入浴や洗濯の支援を行った。
- ・利用者のニーズに合った余暇支援（外食や外出等）を取り入れた。

(2) 実 績

ア 年度比較

(人)

年 度	延利用者数	1日平均利用者数	延契約者数	解約者数
令和6年度	4,544	18.2	42	5
令和7年度	4,333	17.8	40	2
比 較	△211	△0.4	△2	△3

イ 月別利用実績

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開 所 日 数	21	20	21	22	20	20	22	18	21	20	18	21	244日
延 利 用 者 数	405	390	369	400	326	359	377	305	358	346	312	386	4,333人
実利用者数/月	36	35	35	36	36	34	34	33	34	33	32	33	34.2人
平均利用者数/日	19.3	19.5	17.6	18.2	16.3	18.0	17.2	17.0	17.1	17.3	17.3	18.3	17.8人

課題と今後の取り組み

- ・活動場所が4階である。利用者を見ても階段がある事やフロアの大きさなどが実情に合わない。場所の検討が必要。
- ・継続利用者が多数のため高齢化が止まらない。高齢者対応の支援が求められる。
- ・引き続き利用者の毎日の健康観察を重視する。

資 料（令和 8 年 3 月 31 日現在）

年代別数 (人)

性別 数	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代以上
男 26	0	0	1	11	14
女 15	0	2	1	6	6
計 41	0	2	2	17	20

障害支援区分別数 (人)

性別 数	区分 2	区分 3	区分 4
男 26	16	8	2
女 15	11	3	1
計 41	27	11	3

2 指定短期入所事業 「フレッシュとくま」 (定員 3 人)

宿泊型訓練の体験利用だけでなく、レスパイト目的の利用者や定期利用者も受け入れした。

1 日平均利用者数は 0.8 人だった。給付費収入は 1,372 千円で前年度に比べて 818 千円減であった。

(1) 主な取り組み

- ・さまざまな利用目的に対応し受入れをした。
- ・家族、相談支援専門員、病院のケースワーカーと連携をした。
- ・病院からの地域移行の体験利用で受入れをした。

(2) 実 績

ア 年度比較 (人)

年 度	延利用者数	1 日平均利用者数	実利用者数
令和 6 年度	464	1.3	23
令和 7 年度	283	0.8	15
比 較	△181	△0.5	△8

イ 月別利用実績

令和 7 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均・合計
開 所 日 数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365 日
延 利 用 者 数	19	19	26	26	27	23	25	18	21	21	31	27	283 人
平均利用者数/日	0.7	0.7	0.9	0.9	0.9	0.8	0.9	0.6	0.7	0.7	1.2	0.9	0.8 人

課題と今後の取り組み

- ・定期利用者の利用目的によっては入所に繋がるよう働きかける。
- ・緊急対応を求められることも多いが、行政等関係機関と連携を密にして対応したい。

3 指定自立訓練（宿泊型）事業 「フレッシュとくま」 （定員 17 人）

令和 7 年度は、年度当初は 8 人の入所者であった。その後の入所者の内訳は、自宅から 2 人、知人宅から 1 人、更生保護施設から 1 人、救護施設から 1 人、他グループホームから 1 人であった。

退所者は、2 人が別法人のグループホームへ移り、2 人が自宅へ帰った。1 人は単身アパートへ移った。1 人は別法人のグループホームへ移る予定であったが、別法人内での入居準備が退所期限までに整わず、今現在もショートステイを利用しながら宿泊を継続している。

1 日平均利用者数は 7.7 人であった。給付費収入は 19,819 千円で前年度に比べ 6,472 千円減となった。

（1）主な取り組み

ア 個別支援計画に基づいて質の高い支援

- ・ 3 ヶ月ごとの振り返りを行い、要望等を聞き取りニーズに反映した。

イ 利用者の確保

- ・ 年間を通して医療機関、行政等との情報交換や協力をお願いした。

ウ 安全で衛生的な環境への配慮

- ・ 新型コロナウイルス等の感染予防を徹底した。
- ・ 毎日、検温を実施した。
- ・ 防災設備の定期的な点検、維持を行った。
- ・ 防災訓練を毎月実施した。
- ・ 生活の場にふさわしい快適な環境を提供した。

（2）実 績

ア 年度比較

（人）

	延利用者数	1 日平均利用者数	延契約者数	解約者数
令和 6 年度	3,507	9.7	17	9
令和 7 年度	2,804	7.7	14	6
比 較	△703	△2	△3	△3

イ 月別利用実績

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365日
延利用者数	240	216	196	206	186	172	212	215	292	316	276	277	2,804人
契約者数/月	8	8	7	7	6	6	7	8	10	11	10	9	8.0人
平均利用者数/日	8.0	7.0	6.6	6.7	6.0	5.8	6.9	6.9	9.5	10.2	9.9	9.0	7.7人

課題と今後の取り組み

- ・入所者を増やしていく必要がある。
- ・宿泊型自立訓練の在り方を検討していく。

資料（令和8年3月31日現在）

年代別数 (人)

性別 数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上
男 5	0	0	0	3	2	0
女 4	0	0	1	1	2	0
計 9	0	0	1	4	4	0

障害支援区分別数 (人)

区分2	区分不明
4	5

市町村別 (人)

長野市	千曲市	中野市	須坂市	飯綱町	筑北村
4	1	1	1	1	1

4 指定自立訓練（生活訓練）事業 「フレッシュとくま」 (定員6人)

今年度の利用者はすべて宿泊型自立訓練に入所している方であった。

入所当初より日中活動先として自立訓練を利用するが、生活に慣れてくると就労への移行を希望する利用者が多く、併用して就労継続支援B型を使う利用者も増えた。

1日平均利用者は、4.2人で昨年より0.9人減となった。給付費収入は10,801千円と昨年度より2,434千円減となった。

(1) 主な取り組み

- ・その人らしい生活ができるよう、自主性・自発性を尊重した。

- ・個別支援計画に基づき個人の目標を都度確認し、その方向性に合わせ支援をした。
- ・主に退所後の生活の場などに合わせた、生活スキルが身につくよう支援した。

(2) 実 績

ア 年度比較

(人)

年 度	延利用者数	1日平均 利用者数	延契約者数	解約者数	新規契約者数
令和6年度	1,224	5.1	14	8	3
令和7年度	1,036	4.2	10	5	4
比 較	△188	△0.9	△4	△3	1

イ 月別利用実績

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開 所 日 数	21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242日
延 利 用 者 数	79	66	66	68	80	60	93	82	128	120	99	95	1,036人
実利用者数/月	5	5	4	4	6	4	5	6	8	8	7	6	10人
平均利用者数/日	3.8	3.3	3.1	3.1	4.0	3.0	4.2	4.6	6.4	6.3	5.5	4.5	4.3人

課題と今後の取り組み

- ・宿泊型自立訓練と連動した支援をしていく。
- ・利用期間終了後の生活について、色々なパターンをより具体的にイメージできるような支援をしていく。
- ・スローステップが老朽化したため、令和8年度は多機能の組み換えをし、本部で事業を行うこととした。

資 料 (令和8年3月31日現在)

年代別数

(人)

性別 数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
男 3	0	0	0	3	0
女 3	0	0	1	1	1
計 6	0	0	1	4	1

障害福祉サービス支給市町村

(人)

性別 数	長野市	中野市	須坂市	飯綱町	筑北村
男 3	1	0	0	1	1
女 3	1	1	1	0	0
計 6	2	1	1	1	1

5 指定共同生活援助事業 「グループホーム」 (定員 28 人)

令和 7 年度は、体調の変化に留意し医療機関と連携を取り、必要時には同行受診をし、安定した生活が送れるように支援をした。

地域連携推進会議を開催し、地区民生児童委員、グループホーム利用者、家族との情報交換することができた。

将来の生活をイメージできるよう、65 歳以上の希望利用者に対して軽費老人ホーム、特別養護老人ホームを見学した。利用者の方が将来を見据える良い機会となった。

サテライト型グループホームへの利用希望があり、新たに開設した。

1 日平均利用者数は 24.0 人で前年度に比べ 1.8 人増となった。給付費収入は 35,644 千円で前年度に比べて 5,467 千円増となった。

(1) 主な取り組み

ア「こまざわハウス」では食事提供をし、居室の掃除、洗濯、金銭相談、各種手続きを利用者で行うなど手厚い支援をした。また、必要な利用者に対しては同行受診を行った。

イ「いなだの家」では、利用者ができることを、より増やせるようにグループホーム内の掃除、夕食の片づけ等の当番活動を実施した。地域に馴染んだ生活ができるようにグループホームの周りの草取り、地区のゴミ当番、清掃へ参加した。

ウ「のくとまーる」では、1 週間に 1 回～2 週間に 1 回、居室を訪問し生活の様子（食事、掃除、金銭の状況、薬、体調等）の確認をした。

(2) 実 績

ア 年度比較表 (人)

年 度	延利用者数	1 日平均利用者数	延契約者	新規利用者数	解約者数
令和6年度	8,104	22.2	27	3	2
令和7年度	8,769	24.0	24	9	5
比 較	665	1.8	△3	6	3

イ 月別利用実績表 (人)

令和 7 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開 所 日 数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延 利 用 者 数	701	750	721	743	753	729	757	724	768	759	671	693	8,769
実利用者数/月	24	25	24	24	26	26	25	25	24	25	25	23	296
体験利用者数	2	1	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	7
平均利用者数/日	23.4	24.2	24.1	24.0	24.3	24.3	24.4	24.2	24.8	24.5	24.0	22.4	24.0

課題と今後の取り組み

- ・高齢な利用者に対しては本人や家族と相談しながら、地域包括支援センターと連携し介護保険サービスの導入を検討していく。
- ・一人暮らし生活を希望する利用者に対しては一人暮らし生活ができるように助言、支援を引き続き行う。
- ・日中活動先に体調不良等で欠席した利用者に対して日中支援していく。
- ・長期入院する状態になる前に医療関係者と連携を取り、対応する。
- ・今後も新規利用者を積極的に受け入れていく。

資 料（令和 8 年 3 月 31 日現在）

年代別数 (人)

性別 数	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代以上
男 14	1	2	2	5	4
女 10	1	1	4	2	2
計 24	2	3	6	7	6

障害支援区分別数 (人)

施 設	区分 1	区分 2	区分 3	全体
こまざわハウス	0	6	3	9
い な だ の家	2	4	0	6
のくとまーる	1	7	1	9
合 計	3	17	4	24

市町村別 (人)

長野市	千曲市	須坂市	佐久市	麻績村	小川村	信濃町
16	3	1	1	1	1	1

6 指定自立生活援助事業 「自立生活支援室」 (定員なし)

今年度は 2 人に対して定期訪問し日常生活の見守りや金銭管理等、安定した一人暮らしの定着に向け支援を実施した。必要な時には同行をして支援した。新たに一人暮らしを始め、生活面の困りごとを利用者と一緒に解決し、安定した生活を送れるように支援することができた。実利用者数は 2 人で、給付費収入は 221 千円で前年度に比べて 98 千円減となった。

(1) 主な取り組み

ア 状況確認について

- ・定期的な訪問、面接等により本人の生活状況を把握した。
- ・必要に応じ銀行や医療機関等へ同行し手続等を一緒に行った。

イ 相談について

- ・訪問及び面接時に困っていることや不安に思っていること等の相談を受け、解決に向けて一緒に取り組んだ。
- ・利用終了時を考え必要なサービスの情報提供や利用に向けての支援をした。
- ・手続き（公共料金の引き落とし・市役所での住所変更等）に同行し支援した。

ウ 関係機関との連絡調整

- ・相談支援専門員はじめ、日中の利用施設など関係機関との連絡調整を行った。
- ・課題等の解決に向けての話し合いを開いた。

(2) 実 績

ア 年度比較

(人)

年 度	登録実人数	新規利用者数	解約者数
令和 6 年度	3	0	3
令和 7 年度	2	2	0
比 較	△1	2	△3

イ 月別利用実績

令和 7 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均／合計
開 所 日 数	21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242 日
延 支 援 回 数	0	0	0	3	5	5	5	4	5	4	10	6	47 回
登録実人数／月	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	2	0.9 人

課題と今後の取組

- ・自立支援協議会や基幹相談支援センター等に本サービスの情報を伝え、新たに一人暮らしをする利用者に対して利用してもらえるように努める。
- ・グループホーム退所する利用者や宿泊型自立訓練の退所する利用者、病院から退院した利用者に対して、本サービスの情報を伝え利用者確保に努める。
- ・一人暮らし等新しい生活に慣れ、地域に馴染めるように重点的に支援をする。
- ・金銭管理の面で支援が必要な方に対しては早い段階で社会福祉協議会の日常生活自立支援事業利用の導入を図る。

資 料（令和 8 年 3 月 31 日現在）

年代別

(人)

20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代
1	1	0	0	0	0

障害認定区分 (人)	
なし	区分 1
1	1

市町村別 (人)	
長野市	筑北村
1	1

7 指定就労継続支援B型事業 「ワークス上駒」 (定員 34人)

屋内作業の受注は徐々に増えてきており、新たに新規の作業として菓子の缶入れの作業が増えており収入は上がった。

屋外作業に関しては清掃業務、除草作業の回数が減り収入は減となっているが、民泊の清掃作業、施設外での菓子の製造作業は安定しており収入減を最小限に抑えられた。

今年度の平均工賃は 28,697 円で前年度に比べ 2,246 円増となった。

新規での利用者が 3 人いたが退所者が 2 人、入院した利用者もいたため平均利用者数は 25.4 人と 1.7 人減少した。給付費収入は 50,630 千円と前年度に比べて 145 千円減となった。

(1) 主な取り組み

- ・新規企業との契約
- ・現状の利用者の日数と時間の増加
- ・養護学校の実習生の受け入れ
- ・ハローワークへの登録、求人情報の提示、就労継続支援A型への移行などの就労支援
- ・パンフレットを作り直し、関係機関へ配布

(2) 実 績

ア 年度比較

(人)

年 度	延利用者数	1 日平均 利用者数	延契約者数	新規 契約者数	解約者数
令和 6 年度	6,542	27.1	38	2	1
令和 7 年度	6,140	25.4	36	3	3
比 較	△402	△1.7	△2	1	2

イ 月別利用実績

令和 7 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均・合計
開 所 日 数	21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242 日
延 利 用 者 数	573	528	544	549	454	489	545	431	515	489	476	557	6,140 人
実利用者数/月	37	36	36	36	36	35	35	34	35	37	36	36	35.7 人
平均利用者数/日	27.2	26.4	25.9	24.9	22.7	24.4	24.7	23.9	25.7	25.7	26.4	26.5	25.4 人

課題と今後の取り組み

- ・新規利用者の確保
- ・養護学校の実習生や各機関へのパンフレット配布
- ・新規作業の開拓

資 料（令和 8 年 3 月 31 日現在）

年代別数

（人）

性別 数	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代
男 26	0	2	3	8	9	4
女 10	0	1	1	0	2	6
計 36	0	3	4	8	11	10

月別工賃支給状況

（小数点以下切り捨て）

月	支給人員（人）	工賃支給金額（円）	
		月平均額	月最高額
4	35	19,414	50,110
5	35	18,904	50,300
6	33	20,632	48,300
7・賞与	36	52,593	118,359
8	34	18,555	43,600
9	35	21,914	57,000
10	33	20,484	49,500
11・賞与	33	67,211	161,850
12	34	17,100	48,080
1	37	14,627	40,080
2	35	13,298	28,080
3・賞与	36	62,187	152,829
平均月額		（R7 年度） 28,697 円	（R6 年度） 26,451 円

8 指定就労継続支援B型事業 「ゆったりんどう」 （定員14人）

今年度も昨年に続き学校、地域の行事などに声を掛けていただき交流することができた。

新規での利用者はいたが、他の事業所へ移った利用者や、4月からの休止に伴い3月末で別の事業所へ移行する利用者もいた。

菓子の缶入れなどの作業も新規でおこない作業量は確保できた。

今年度の平均工賃額は 5,347 円で、昨年度と比べて 79 円増となった。

1 日平均利用者数は 13.3 人で前年度に比べ 0.2 人増となり、給付費収入は 24,535 千円で前年度に比べ 268 千円増となった。

(1) 主な取り組み

- ・利用者の多様なニーズに合わせた作業と働く場の提供
- ・地域と連携した生産活動に取り組む
- ・外出等余暇活動などの充実

(2) 実 績

ア 年度比較

(人)

年 度	延利用者数	1 日平均 利用者数	延契約者数	解約者数	新規契約者数
令和 6 年度	3,141	13.1	30	3	2
令和 7 年度	3,196	13.3	25	5	2
比 較	55	0.2	△5	2	0

イ 月別利用実績

令和 7 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均・合計
開 所 日 数	21	20	20	21	22	20	22	18	20	19	18	21	242 日
延 利 用 者 数	278	256	262	292	237	271	313	246	277	250	221	293	3,196 人
実利用者数/月	28	27	26	27	28	27	25	25	25	25	25	25	26.1 人
平均利用者数/日	13.2	12.8	13.1	13.9	11.8	13.5	14.2	13.6	13.8	13.1	12.2	13.9	13.3 人

課題と今後の取り組み

- ・令和 8 年 4 月 1 日から休止
- ・事業再開等の検討

資 料 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

年代別数

(人)

性別 数	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳以上
男 15	0	1	5	2	4	3
女 10	0	0	2	5	2	1
計 25	0	1	7	7	6	4

月別工賃支給状況

(小数点以下切り捨て)

月	支給人員 (人)	工賃支給金額 (円)	
		月平均額	月最高額
4	29	4,372	5,424
5	29	5,775	6,711
6	29	4,366	5,100
7	29	5,596	6,849
8	29	3,931	4,675
9	30	4,099	4,946
10	31	6,262	7,385
11	31	6,752	7,676
12	30	5,040	6,188
1	29	6,571	8,332
2・賞与	29	6,269	6,782
3	29	5,132	6,051
平均月額		(R7 年度) 5,347 円	(R6 年度) 5,268 円

9 指定一般相談支援事業（地域移行支援事業・地域定着支援事業）「相談室」

地域移行支援の依頼が増えサービスの利用につながった。また、昨年度は依頼を受けながらも支援に至らなかったケースがあったが、今年度は依頼があったケースは全て支援に繋がったのも理由となっている。地域定着支援では、令和6年度と変わらない登録者数だった。緊急時の支援としては、利用者の体調不良による対応を行った。

給付費収入は1,035千円と前年度に比べて789千円増となった。

(1) 主な取り組み

ア 地域移行支援

- ・地域移行支援計画の作成等
- ・地域生活移行のための相談
- ・外出同行
- ・障害福祉サービスの体験利用
- ・体験的な宿泊支援

イ 地域定着支援

- ・地域定着支援台帳作成
- ・連絡体制の確保
- ・緊急時の状況把握、対応等

ウ 連携による地域生活支援

- ・関係機関との連携強化

(

2) 実 績

ア 地域移行支援

年 度	利用実人数	利用延月数	継続支援者数
令和 6 年度	0 人	0 か月	1 人
令和 7 年度	6 人	20 か月	2 人
比 較	6 人	20 か月	1 人

イ 地域定着支援

年 度	利用実人数	利用延人数	緊急時支援
令和 6 年度	6 人	74 人	2 回
令和 7 年度	6 人	72 人	1 回
比 較	0 人	△2 人	△1 回

課題と今後の取り組み

- ・地域移行支援では、年間 3 件以上の支援を継続していく。
- ・地域定着支援では、利用者が高齢化していく中で、緊急時の対応について検討が必要。

1 0 指定特定相談支援事業 「相談室」

令和 7 年度は、専任 1 人、兼務 5 人の相談支援専門員がサービス等利用計画の作成を行った。利用者のニーズにあわせた福祉サービスの支給とより本人の意向に合う事業所の利用に向け調整やサービスの状況の確認を行った。また、相談支援専門員やサービス管理責任者の更新研修などの管理を行った。

給付費収入は 12,027 千円と前年度に比べて 616 千円増となった。

(1) 主な取り組み

- ・生活全般に関わる一般的相談、電話・訪問相談、情報提供、関係者間の連絡調整
- ・サービス等利用計画の作成（サービス利用支援、継続サービス利用支援）
- ・専門性の更なる向上のため研修等に参加

(2) 実 績

サービス等利用計画作成件数

(件)

	サービス利用支援	継続サービス利用支援
令和 6 年度	209	439
令和 7 年度	219	455
比 較	10	16

課題と今後の取り組み

- ・依頼があれば新規計画相談の受け入れをし相談件数の維持に努める。
- ・サービス管理責任者と相談支援専門員資格の更新研修受講の漏れが無いように管理していく。また、各資格研修を計画的に受講できるようにしていく。

1 1 指定居宅介護・重度訪問介護事業「ヘルパーステーションてくてく」（定員なし）

身体介護、通院等介助支援において支援時間は増加した。新規契約者は3人あったが支援の必要がなくなった等で4人が解約となった。現在は高齢の親との同居生活で、生活面での支援の必要性は低いが、将来的なことを考え今のうちから、居宅介護支援になれるため利用開始になった利用者が2人あった。

急病、感染症等での家事援助は減少し、通院等介助で、同行通院や各種手続きの支援が増えた。また、件数は少ないが、長野市移動支援サービス事業で、余暇支援も行っている。給付費収入は7,478千円で昨年度より273千円増となった。

（１）主な取り組み

- ・安定した地域生活の継続のために利用者へ日常生活及び社会生活の総合的支援
- ・調理・洗濯・掃除・買物・通院介助・その他必要な援助
- ・必要に応じて健康や日常生活上の相談や助言

（２）実 績

ア 年度比較

	実契約者数	延支援時間	延支援者数	新規利用者数	解約者数
令和6年度	36人	1,100時間	1,078人	8人	7人
令和7年度	32人	1,148時間	1,140人	3人	4人
比 較	△4人	48時間	62人	△5人	△3人

イ 月別利用実績

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均／合計
開 所 日 数	21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	241日
延 支 援 時 間	88.0	103.5	94.0	92.5	101.5	90.5	101.0	84.5	113.0	80.0	85.0	114.5	1148時間
登録実人数／月	31	31	32	32	31	30	30	30	30	30	30	29	30.5人

課題と今後の取り組み

- ・相談支援専門員等と連携し、今後の生活状況変化を見据えて支援開始できるように取り組む。
- ・通院等介助支援で、通院時同行し、利用者状況の伝達と主治医からの指示内容が理解できるよう支援する。

Ⅲ 令和7年度 ライフサポートりんどう家族会の状況

1 今年の情勢

昨年同様、定期総会を対面式にて開催し、終了後は家族同士の交流・意見交換の場とした。冬季間以外は家族の日を毎月最終金曜日に定期開催し、平均3名程度の参加があった。今後も会員数の減少や高齢化等の問題はあものの、参加家族の意向も踏まえた事業運営で参加者確保に努める。

2 事業の主なもの

(1) 会 議 ・総会1回 ・幹部会 1回 ・監査会1回

(2) 親睦交流会 ・家族会交流会 ・令和7年6月21日（定期総会終了後）

今後の家族会の活動についてなどフリートーク 7名参加

・令和8年3月12日 「成年後見制度について」

まいさば長野市より講演 7名参加

(2) 研 修 会 ・「家族の日」 毎月最終金曜日開催 内容：フリートーク・DVD鑑賞

令和7年4月25日 5名参加 令和7年5月31日 4名参加

令和7年7月25日 1名参加 令和7年8月28日 2名参加

令和7年9月24日 1名参加 令和7年10月31日 3名参加

令和7年12月19日 5名参加

※6月、11月、3月はそれぞれ家族会の行事参加に振替、1月と2月は冬季間につき開催なし

・会員学習会 令和7年11月28日 高齢化社会だからこそ・・・「みんなで考えよう！！これからのこと 家族のこと」をテーマに介護保険制度とまいさば長野市の支援内容について講義 9名参加

(3) 啓 発 活 動 ・機関紙「とくまの風」発行 No. 239～No. 245

・月刊誌「みんなねっと」「こころの元気+」団体購読推進

(4) そ の 他 ・古紙回収事業 8,030kg（昨年は7,380kg）

・令和7年度会員数 85名（幹部会員4名 代議員17名）

・社会福祉法人長野りんどう会への運営協力（評議員参加）

3 会計報告

・収入	436,472円	・支出	307,515円	・収支残額	128,957円
内訳	繰越金	147,692円	内訳	会議費	11,849円
	会費	87,000円		負担金	51,000円
	事業収入	201,510円		通信費	50,646円
	雑収入	270円		旅費	16,540円
				報償費	4,190円
				事業費	167,705円
				雑費	5,585円

令和 7 年度 役員等名簿

	氏 名	就任年月日	任 期	備 考
理 事	風 間 杏 子	R 7. 6. 25	R 9 年度定時評議委員会 の終結の時まで	常務理事
	小 平 恵 子	〃	〃	
	小 林 千 佳 子	〃	〃	副理事長
	轟 純 一	〃	〃	
	松 橋 良 三	〃	〃	理事長
	宮 尾 美 代 子	〃	〃	
	和 田 恭 良	〃	〃	
監 事	塩 澤 一 郎	R 7. 6. 25	R 9 年度定時評議委員会 の終結の時まで	
	丹 後 恵 二	〃	〃	
評議員	浅 川 繁 俊	R 7. 6. 25	R 11 年度定時評議委員会 の終結の時まで	
	荒 井 美 恵 子	〃	〃	
	伊 藤 善 啓	〃	〃	
	倉 石 義 人	〃	〃	
	小 出 恭 彦	〃	〃	
	野 村 和 文	〃	〃	
	羽 田 や よ え	〃	〃	
	渡 辺 隆 一	〃	〃	
評議員選任・ 解任委員	金 子 伸 雄	R 5. 6. 21	〃	
	丹 後 恵 二	R 7. 6. 25	〃	
	西 澤 秀 一	R 7. 4. 1	〃	
第三者委員	黒 柳 み よ	R 6. 4. 1	R 8. 3. 31	
	富 田 洋 子	〃	〃	

令和8年度 職員名簿

令和8年4月1日現在

区分	職 名	氏 名	区分	職 名	氏 名
本部事務	事 務 長	西 澤 秀 一	相談室	管理者（施設長）	（ 風 間 杏 子 ）
	事 務 員	荒 井 里 美		相談支援専門員	萩 原 ゆ り か
	事 務 員	田 村 あ け み		相談支援専門員	山 口 和 嘉
フレッシュとくま	管理者（施設長）	（ 風 間 杏 子 ）		相談支援専門員	（ 小 沼 淳 一 ）
	サービス管理責任者	武 井 綾		相談支援専門員	（ 高 野 裕 朗 ）
	生 活 支 援 員	佐 藤 和 香	グループホーム	管理者(施設長・サビ管)	北 澤 純 子
	地域移行支援員・生活支援員	本 山 葉 月		世 話 人	小 林 孝 子
	生 活 支 援 員	巾 招 幸		世 話 人	四 柳 美 保 子
	生 活 支 援 員	高 野 裕 朗		世 話 人	小 沼 淳 一
	生 活 支 援 員	北 澤 美 枝 子		世 話 人	傳 田 由 香
	生 活 支 援 員	一 戸 直 子		世 話 人	八 田 眞 美
	生 活 支 援 員	山 口 善 幸		世 話 人	中 澤 文 江
	看護職員・生活支援員	和 田 美 知 子		世 話 人	（ 西 澤 秀 一 ）
	看 護 職 員	池 田 英 利 子		世 話 人	（ 北 澤 美 枝 子 ）
	生活支援員・調理員	池 田 け さ 美		世 話 人	（ 田 村 あ け み ）
	生活支援員（送迎）	（ 下 谷 泰 憲 ）		世 話 人	（ 荒 井 里 美 ）
	当 直 職 員	橋 本 雅 男		看 護 職 員	（ 池 田 英 利 子 ）
	当 直 職 員	土 屋 富 男	自立生活支援室	管理者(施設長・サビ管)	（ 北 澤 純 子 ）
	当 直 職 員	小 林 健 一		自 立 生 活 支 援 員	（ 四 柳 美 保 子 ）
	当 直 職 員	横 田 幸 男	（てくてく） 居宅介護	管理者(施設長・支援員)	（ 小 林 千 佳 子 ）
	生 活 支 援 員	中 込 美 代 子		支 援 員	（ 四 柳 美 保 子 ）
	生 活 支 援 員	坂 本 美 津 子		支 援 員	（ 傳 田 由 香 ）
				支 援 員	（ 本 山 葉 月 ）
				支 援 員	（ 小 林 清 美 ）
ワークス上駒	管理者（施設長）	（ 西 澤 秀 一 ）		支 援 員	（ 田 村 あ け み ）
	副施設長・サービス管理責任者	上 野 和 昭			
	目標工賃達成指導員	田 村 郁 雄			
	生 活 支 援 員	和 田 美 佐 江			
	職 業 指 導 員	小 林 清 美			
	職 業 指 導 員	関 涼 太			
	生活支援員（送迎）	下 谷 泰 憲			
	生 活 支 援 員	松 本 か ん 奈			
	生 活 支 援 員	内 田 俊 之			
	職 業 指 導 員	白 谷 久 美 子			
	生 活 支 援 員	大 峽 幸 良			

発 行 者 社会福祉法人長野りんどう会
発 行 日 令和8年8月

〒381-0041 長野市大字徳間 3222

Tel 026-239-7077

Fax 026-239-7070

e-mail: l.s.r@bg.wakwak.com

URL: <https://nagano-rindou.jp/>